

**日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会
GEWEX 小委員会 第 25 期第 3 回会合 議事要旨**

日時：令和 5 年 3 月 14 日（火） 10:00-12:00

会場：遠隔会議（Zoom）

（主催会場：東大大気海洋研究所気候システム研究系高藪研究室（柏キャンパス））

出席委員：高藪 縁委員長，沖 理子，荻野 慎也，梶川 義幸，鼎 信次郎幹事，佐藤 友徳，重 尚一，大楽 浩司，高橋 洋，高谷 祐平幹事，田中 賢治，仲江川 敏之，樋口 篤志，増永 浩彦副委員長，松本 淳副委員長，森 修一，山田 朋人，芳村 圭，米山 邦夫（出席委員数 19 名，定足数以上で成立）（敬称略）

欠席委員：沖 大幹，金 炯俊，寺尾 徹（敬称略）

議題：

1. 議事要旨および会議の録音の取り扱いについて
2. 「第 9 回全球エネルギー水循環計画(GEWEX)国際会議」の札幌招致について
3. その他

配布資料：

資料 1：議事次第

資料 2：GEWEX 小委員会第 2 回会合議事要旨_提出版

資料 3：20230203_学術会議発表資料_北大山田_20230204_確定版

資料 4：20230314_GEWEX-OSC@Sapporo_GEWEX 小委員会

議事：

1. 議事要旨及び会議の録音の取り扱いについて

議事要旨の最終的な取りまとめを委員長、副委員長、幹事に一任することに合意した。記録のため、会議の録音について合意した。

2. 「第 9 回全球エネルギー水循環計画(GEWEX)国際会議」の札幌招致について：山田委員

(1) GEWEX Open Science Conference 招致・準備の状況

本会合では、学術委員会に共同開催国際会議申請審査資料のプレゼン資料に沿って、山田委員より内容の説明が行われた。前回の議事録と重複するが、以下に要点を記す

・日本学術会議へは国際会議共同主催の申請書を 11 月 30 日に提出し、1 月 10 日にヒアリングも終了した。現在、結果待ち。採択に向かって動いていると思われる。

- ・令和6年7月7日(月)-12日(金)、札幌(京王プラザホテル、駅から徒歩3分)での開催という形で招致する(7月7日は市民公開講座を開催する予定)。
- ・2月24日にGEWEX IGPO DirectorのPeter van Oevelen博士が会場および北海道大学を訪問。
- ・来年5月のGEWEXのSSGで最終決定だが、GEWEX側で事実上内定となっている。
- ・会議計画案の概要、関連組織との調整、GEWEX-OSC組織全体図案、作業部会の構成案、プログラムとテーマ、会場(京王プラザホテル)の具体、セッション数(時間半の通常セッションが40コマ程度)について説明。
- ・発表者に周知・呼びかけをお願いする。また、各学会の大会会期が重複しないように、日程の調整をお願いする。
- ・論文の特別号について、GEWEX小委員会で検討いただきたい。
- ・参加費、支出についての検討案、収入案(特別セッション、企業展示、寄付、国際会議誘致制度、等)、協力体制に関する進捗状況(案)について説明。

(2)山田委員との質疑・意見

質問：他の研究コミュニティに開催決定と通知して良いか？

山田：正式にはGEWEX SSGで決定、(非公式な形で)開催に向けて準備しているとの周知いただきたい。

○今後、会議名(第9回の数字「9」は半角)としたい(松本)。

○助成、援助についての議論を行った。

鹿島財団?の助成、気象学会も旅費援助、東京地学協会(100万円程度)の援助等がある。途上国(特にアジア)からの参加者の参加費支援に力を入れられればと思う。

○AsiaPEXの会議をOSCの前後に開催できないか?山田委員がGEWEX SSG(5月、チリ)に参加できないか?

山田：GEWEX IGPOが集める資金には、発展途上国からの参加支援もあるので、協力して行う必要がある。JICAプログラムとの協力も模索したい。

質問：特別セッション(1コマ=1時間半の想定)の後援、支援について、詳しく教えてもらいたい。

山田：現在検討中ではあるが、後援付きのセッションであることをわかるようにしたい。人数規模などはわからないが、1コマにつき、数十万程度(100万円未満)を想定。

質問：本小委員会でやることについて、こういったタイミングで進めていく必要があるのか?

山田：小委員会には、合同実行委員会、合同運営委員会、作業部会で支援いただけるとあり

がたい。

質問：JAXA は特別セッションへの貢献はやりやすい。プログラムを決められる期限（後援等を各機関において調整する期限）を教えてください。

山田：行政機関等は、セッション毎だと支援しやすい。合同実行委員会及び/または合同運営委員会には沖委員に参加いただきたい。

質問：JAMSTEC の支援についてはどうか？

回答：特別セッション、後援、共催など、様々な支援の仕方がある。JAMSTEC では、飲食費に充当することはできないので、飲食を除く形での後援等の形を準備していただけると支援しやすい。

質問：GEWEX の4パネルの会合（各10人規模）をOSCの前後に開催する場合、会場の予約は可能か？

山田：北大の会場をいくつか予約している。ホテルにも問い合わせているが、近場のホテル会場を利用することも可能と思われる。

○山田委員のGEWEX SSGへのオンライン参加はできるかもしれない。会場設備による。

○テーマ・トピック案について、SSG前に日本から提案する案の検討を事前にしっかり議論すべき。

(3) 本小委員会の役割について

山田：全体構成案の幾つかの場所に本小委員会からのメンバーに貢献してもらいたい。

プログラムとテーマ、招待講演（周知）、学会関係、論文投稿について担当者、コンタクトパーソンを決めたい。

・上記に関連して、幾つかの役割について以下のように案を定めた。

・特集号について

山田：論文特集号については、今後、メールベースで議論するのでよろしくお願ひしたい。

佐藤：OSCのアナウンスか、事前にアナウンスするかは今後の相談。

特集号 Editor の候補/調整係を以下のように提案

- SPEPS: 佐藤、田中
- JMSJ、SOLA : 増永
- HRL: 芳村

・ **学会関係との連携** (各学会への周知(ML 含む)及び各学会の大会会期との調整)

連絡係

- 日本地球惑星科学連合 (JpGU) : 松本、沖理子
- 気象学会 : 増永、高薮
- 水文水資源学会 : 樋口
- 土木学会 : 梶
- 雪氷学会 : 田中 (賢)
- アジア・オセアニア地球科学会 (AOGS) : 松本
- 欧州地球科学連合 (EGU) : 沖理子
- 農業気象学会 : 佐藤 (→ 北大 平野先生)
- アジア太平洋水文水資源協会 (APHW) : 田中 (賢)
- 東京地学協会 : 松本
- 応用生態工学会 : 山田

質問 : セッションを学会で立てる場合は、費用が生じるか ?

山田 : 特別セッションという形で学会の支援が得られれば良いが、通常セッションで参加を呼びかけていただければ、参加費収入となる。

・ **プログラムとテーマについての変更・追加意見**

松本 : The Asian monsoon のところに ocean も含めていただけるとありがたい。

・ **今後の予定について**

山田 : 5月第1週に SSG があり、4月後半に GEWEX コアメンバ? と相談するので、それまでにさらに検討を進めたい。

追加項目について

- アトリビューション
- 能力開発
- 気候サービス (climate services)
- 極域 (polar region)

3. その他

本小委員会の次回開催日程については GEWEX SSG(5月)後を目途として日程調整を行う。